

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	幕張新都心若葉住宅地区計画(B-4)	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2022年12月12日
敷地面積	3,700㎡	作成者	株式会社 熊谷組一級建築士事務所
建築面積	2,952㎡	確認日	2022年12月12日
延床面積	8,793㎡	確認者	株式会社 熊谷組一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>46 (kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>3階建てにすることにより、2階建てより平面積の削減が可能となる為、敷地内により豊かで開放的なコミュニティ通路・広場を設ける計画としている。また、壁面の位置を道路境界から4m後退した位置にすることで、道路面からの圧迫感の軽減に繋がる計画とした。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>特になし</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>特になし</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>道路面には高木と低木を配置し、周辺環境に配慮した計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>超寿命・高効率のLED照明を採用することで、エネルギー消費に配慮した計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>特になし</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>平面的に駐車場を小さくすることで駐車場部分の外壁面が短くなり、街並みの景観に配慮した計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	幕張新都心若葉住宅地区計画(B-4)	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2022年12月12日
敷地面積	3,700㎡	作成者	株式会社 熊谷組一級建築士事務所
建築面積	2,952㎡	確認日	2022年12月12日
延床面積	8,793㎡	確認者	株式会社 熊谷組一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.9

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.0

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源 非再生材料の使用削減 汚染物質回避

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
3階建てにすることにより、2階建てより平面積の削減が可能となる為、敷地内により豊かで開放的なコミュニティ通路・広場を設ける計画としている。また、壁面の位置を道路境界から4m後退した位置にすることで、道路面からの圧迫感の軽減に繋がる計画とした。		
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 特になし	Q3 室外環境(敷地内) 道路面には高木と低木を配置し、周辺環境に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 超寿命・高効率のLED照明を採用することで、エネルギー消費に配慮した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 平面的に駐車場を小さくすることで駐車場部分の外壁面が短くなり、街並みの景観に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される